



K 中 通 信

学校だより第6号
令和5年9月20日
横浜市立軽井沢中学校

【学校教育目標】『主体的に考え行動し、未来を切り拓く生徒の育成をめざします』

- 様々な関わりを通し、よりよく解決する力を育てます。(知・徳・公)
- 持続可能な社会の実現を目指し、しなやかに生きる力を育てます。(体・開)

【ホームページ】 <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/karuizawa/>

地域交流活動での学び

校長 佐藤 由利

夏休みが明けてから3週間余り経ちました。空の雲の様子や夕方の風などに秋の気配を感じるものの、日中は未だに残暑が厳しい日が続いています。学校では夏休み明け感染症の状況が少し心配な時期がありました。現在は欠席も減り、全体的には元気に落ち着いて日々の授業に取り組んでいます。

この夏休みは、4年ぶりに「地域交流活動」が再開し、生徒が地域のお祭りや子育て支援施設等でのボランティア、スポーツ交流会や地域防災訓練、地域清掃への参加など、さまざまな形で地域の皆さま、保護者の皆さまにお世話になりました。私もできる限りその活動と一緒に参加したり様子を見にいたりさせていただきました。言葉を交わせた生徒もいたものの、多くは目と目で会釈する程度ではありましたが、とても楽しそうに一生懸命取り組んでいる姿、普段学校では見られない生徒の一面などもたくさん見ることができ、とても嬉しく思っております。これから社会に出ていく中学生にとって、大人に混じってその立場や役割を感じながら活動することは、とても貴重な経験になったと思います。本当にありがとうございました。

また、8月29日に行われた第1回学校運営協議会では、今年度の学校運営方針や生徒たちの状況についてご説明させていただきました。昨年度委員の皆さまからいただいたご意見も踏まえながら、より良い学校運営に努めて参りたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。秋は文化祭やキャリア教育等、生徒たちがさまざまな活動に取り組みます。それぞれが深い学びにつながるよう支援していくとともに、その様子をぜひ保護者の皆さま、地域の皆さまにご覧いただきたいと思っております。

「響鳴～広がり重なるハーモニー～」 R5 文化祭スローガン

テストが終わり、「合唱祭」に向けての取り組みが本格的になってきました。校舎に歌声が響くこの期間は、私にとって「今年もこの時期が来た」とワクワクする時です。「勝ち負けを競うのではなく、『より良い合唱創りを通してクラス・学年の団結を深める』ということを大切にしていこう」という生徒・先生方の想いから、今年度はそれぞれの学年が「学年合唱」の曲に一曲ずつ取り組み、その他に各クラス一曲ずつ自由曲を選曲し、練習した合唱を発表しあうという形に変更しました。(3年生は、生徒たちと相談の結果、コンクール形式を残しています。)各クラスまだ自由曲については音取りの段階ですが、どのクラスもどの学年も、パートごとに協力しながら真剣に練習に取り組んでいます。各クラスの、そのクラスにしか創り出せない唯一無二のハーモニーを今年も楽しみにしています。